

みずしるべ

編集・発行

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>
メールアドレス shinmaru@cbr.mlit.go.jp

ふれあい広場

たくさんのご来場

ありがとうございました

2009 44

新丸山ダム工事事務所では、去る11月8日(日)事務所構内において「ふれあい広場」を開催しました。毎年、当事務所が現在の地に開所されてから、八百津町が主催する産業文化祭に併せて開催しており今回で17回目になります。

今年も「防災意識の向上」「新丸山ダム事業の紹介」などを目的として、災害対策車の展示・設置実演、事業紹介パネル等の展示・説明、測量機器を使用する「測量コーナー」などを行いました。



対策本部車の設置実演



事業の紹介



測量コーナーの1コマ

目標までの距離を当てる「測量コーナー」には55名の参加があり、各自が目測で推計した距離を、光を使って計測する光波測定器の使用方法を教わりながら、距離を確認していました。

最も誤差の少なかった上位3名については右記のとおりでした。

順位	氏名	学年又は住所	誤差
1位	M・Tさん	久田見小4年	0.4%
2位	M・Yさん	御嵩町	0.5%
3位	M・Oさん	久田見小5年	0.9%

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>

洪水災害と対策のあり方に関するア

調査概要

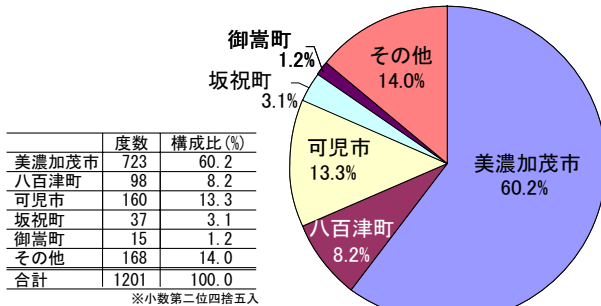
対象地域	みのかも産業祭 (美濃加茂市)	八百津町産業文化祭 (八百津町)
実施日	2009年11月7日(土)・8日(日)	2009年11月8日(日)
場所	中央体育館プラザちゅうたい	新丸山ダム工事事務所構内
調査方法	群馬大学・新丸山ダム工事事務所ブースで、来場者にアンケート記入を依頼	新丸山ダム工事事務所構内で、来場者にアンケート記入を依頼
回答者	1,086人	124人
回答者計	1,210人	



みのかも産業祭（中央体育館プラザちゅうたい）の様子

お住まい

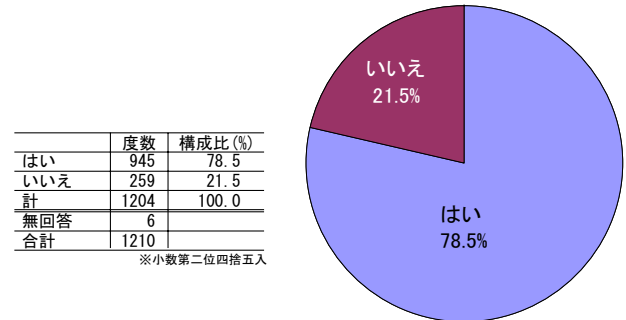
お住まいについて伺います。



有効回答数：1,201

昭和58年水害の認知

あなたは昭和58年9月28日に、美濃加茂市や八百津町、坂祝町などで大きな水害があったことをご存じですか？



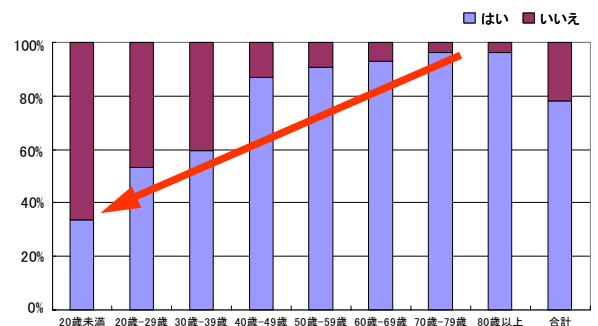
有効回答数：1,204



八百津町産業文化祭（新丸山ダム工事事務所構内）の様子

昭和58年水害の認知（年齢別）

あなたは昭和58年9月28日に、美濃加茂市や八百津町、坂祝町などで大きな水害があったことをご存じですか？



有効回答数：1,153

若年層ほど昭和58年水害知らない

アンケート調査結果

【アンケートの目的】

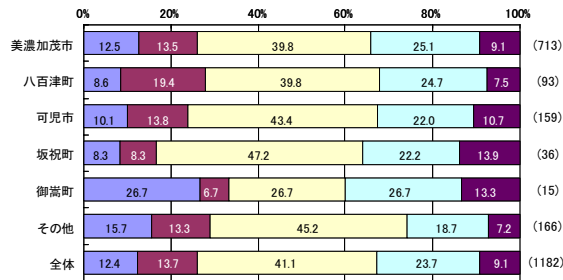
このアンケートは、今後の地域防災推進のあり方に役立てるために行ったものです。

実施者：群馬大学災害社会工学研究室、美濃加茂市都市計画課、新丸山ダム工事事務所

水害の発生可能性意識（居住地区別）

近年多発する集中豪雨などによる水害をご覧になり、今後においてお住まいの地域でも被害が発生するおそれがあると思いますか？

発生すると思う 発生する可能性は高いと思う 発生する可能性はあると思う
 発生する可能性が低いと思う 発生しないと思う

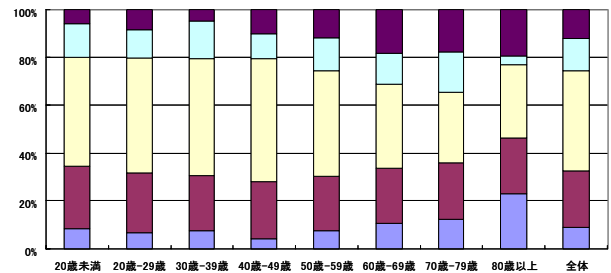


有効回答数：1182

水害の発生可能性意識（年齢別）

近年多発する集中豪雨などによる水害をご覧になり、今後においてお住まいの地域でも被害が発生するおそれがあると思いますか？

発生すると思う 発生する可能性は高いと思う 発生する可能性はあると思う
 発生する可能性が低いと思う 発生しないと思う

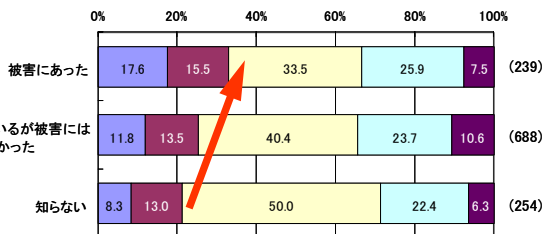


有効回答数：1147

水害の発生可能性意識（経験・知識別）

近年多発する集中豪雨などによる水害をご覧になり、今後においてお住まいの地域でも被害が発生するおそれがあると思いますか？

発生すると思う 発生する可能性は高いと思う 発生する可能性はあると思う
 発生する可能性が低いと思う 発生しないと思う



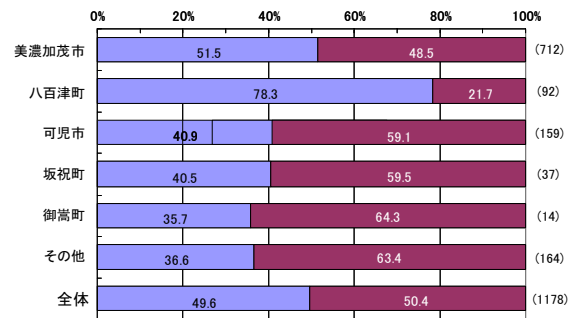
有効回答数：1181

昭和58年水害の経験がある人ほど今後の水害発生を高く認識

新丸山ダム建設事業の認知（居住地区別）

昭和58年の水害を受けて、同じ規模の洪水から地域を守るために「新丸山ダム建設事業」を行っていることをご存じですか？

はい いいえ

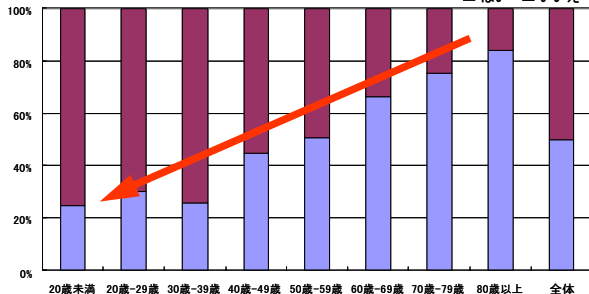


有効回答数：1178

新丸山ダム建設事業の認知（年齢別）

昭和58年の水害を受けて、同じ規模の洪水から地域を守るために「新丸山ダム建設事業」を行っていることをご存じですか？

はい いいえ



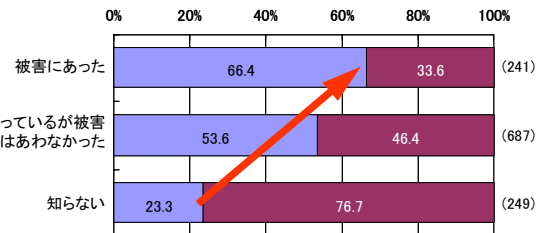
有効回答数：1137

若年層ほど新丸山ダム建設事業を知らない

新丸山ダム建設事業の認知（経験・知識別）

昭和58年の水害を受けて、同じ規模の洪水から地域を守るために「新丸山ダム建設事業」を行っていることをご存じですか？

はい いいえ



有効回答数：1177

昭和58年水害の経験がある人ほど新丸山ダム建設事業を知っている

新丸山ダムは、昭和31年に完成した丸山ダムを有効活用 かさ上げして、洪水を調節する容量などを増やすダムです

丸山ダムは、河口から約90kmの木曾川本川上に位置し、木曾川本川に流れ込んでくる水のおよそ1/2が集まってきます。その上流の雨が集まってくる面積(流域面積)は約2,400km²もあり、現在運用中の我が国のダムでは最も大きいにもかかわらず、洪水を調節するための容量は約2,000万m³しかないダムです。【図-1参照】

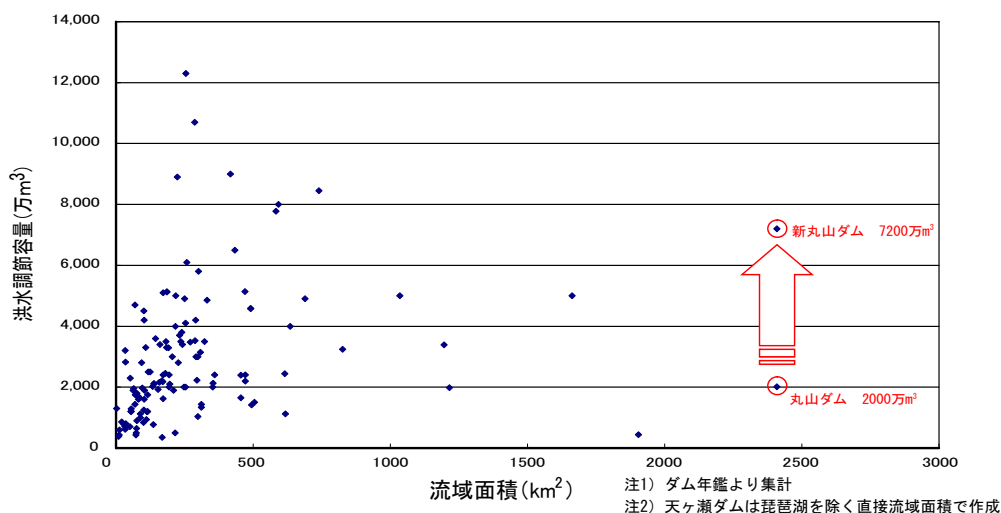
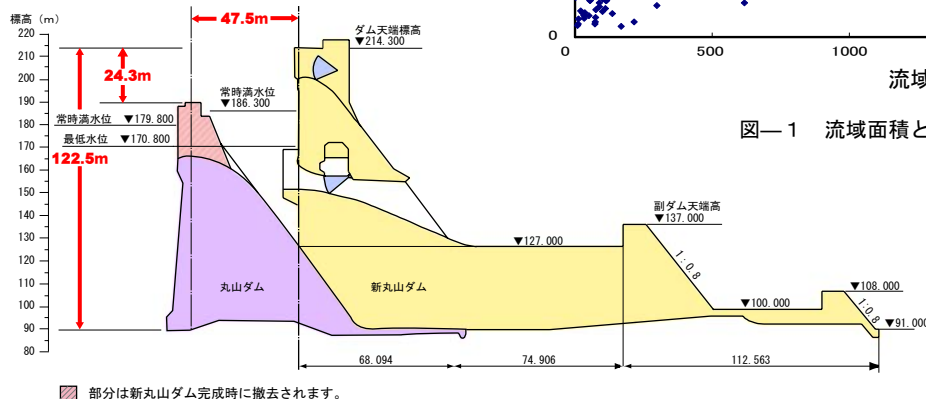


図-1 流域面積と洪水調節容量(直轄管理ダム)

●ダム標準断面図



今渡ダム付近航空写真



昭和58年9月洪水の状況(美濃加茂市内)
(出展)「忘れ得ぬ9.28災害 災害誌(美濃加茂市)」

昭和58年9月に発生した観測史上最大の洪水では、洪水を調節するための容量が不足したことから、「ただし書き操作」と言う、上流から流れ込んできた洪水を調節せずにそのまま下流に流す(流入=放流)操作を途中から余儀なくされ、美濃加茂市やなどで住宅地の中に洪水が流れ込む大災害になりました。

その災害が契機ともなり、丸山ダムの洪水を調節する容量を約3.5倍の7,200万m³に増強する新丸山ダム建設事業が昭和61年に事業化されました。

新丸山ダムが完成すると、昭和58年9月洪水と同じような規模の洪水が発生しても、例えば今渡ダム下流地点で約3m水位を下げるなど、安全に伊勢湾まで流すことができます(一部河道内の樹木の伐採や堤防の補強が必要です)。【図-2参照】

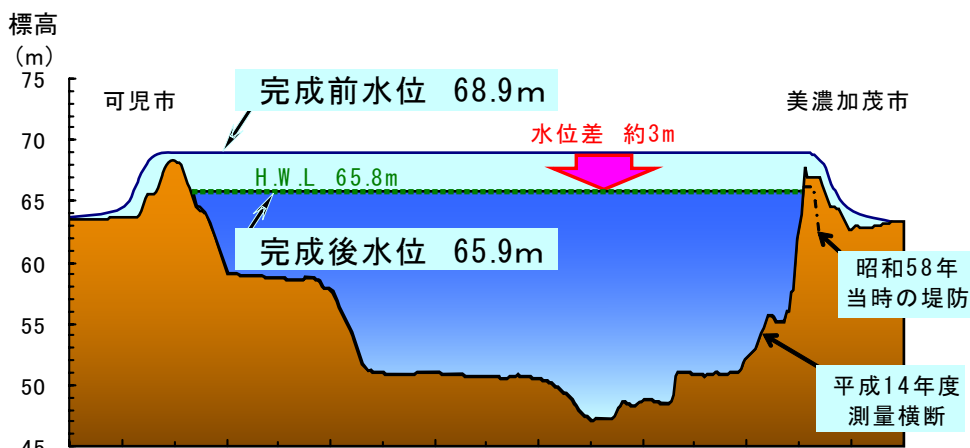


図-2 67.0k(今渡ダム下流)地点における水位低下効果